

実証実験の実施結果について

国土交通省 関東地方整備局

2022(令和4)年2月18日

1. 実証実験の全体像

①意義・目的

- ・スーパー・メガリージョン構想を踏まえ、大都市の利便性を享受する豊かで潤いのある生活や多様な働き方の実現、首都圏内のクリエイティブ人材やイノベーション人材との対流を促すための新たな場・仕組みの形成、多様な地域資源との交流による中間駅周辺地域への成長の機会創出等に資することを目的とした。
- ・この目的を達成するため、以下のとおり実証実験を行った。

- ◆ 中間駅周辺（相模原市緑区藤野・相模湖・津久井地区）における新たなビジネススタイル・ライフスタイルの具体化に関する検証（成果・課題及び改善方策の把握）
- ・首都圏との対流を促すための新たな仕組み、場づくりに関する検証（成果・課題及び改善方策の把握）
- ・地域主体の持続的な取組に向けた成果・課題、方向性の把握
- ・他の中間駅周辺地域への展開を見据えた成果・課題の抽出

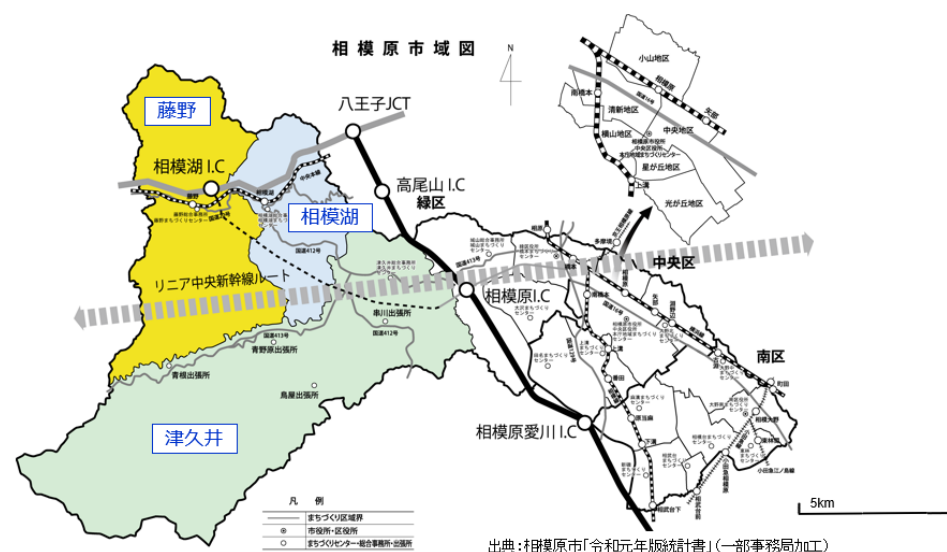
②実験実施期間

- ・ 2021年7月19日（※）～11月30日

※東京都に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が出されたこと等に伴い、10月14日まで実施を見送った。

③実験実施対象エリア

- ・ 相模原市緑区藤野・相模湖・津久井地区



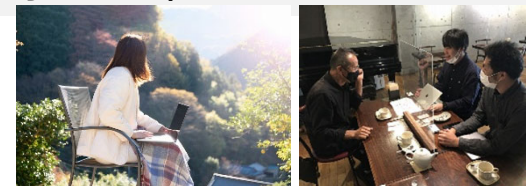
④ 実験内容（ワーケーションの実施）

- ◆ 企業・ワーカーが実験参加を申し込み、その際に、事務局（コーディネーター等）と相談の上、希望のテーマ区分に従い、ワーケーションプログラムを作成し、実証実験を実施

※ 宿泊施設等の申し込みは、参加企業・ワーカーが実施

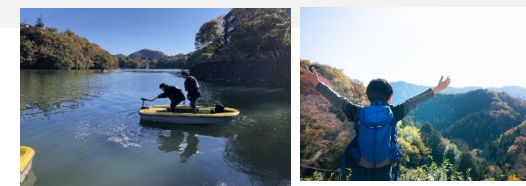
- ・ ワーク拠点：相模原市施設「森のイノベーションラボFUJINO」、宿泊施設（実験対象エリア内）

→ 参加される企業・ワーカーが、ワーク拠点にてテレワークやチームビルディングを実施



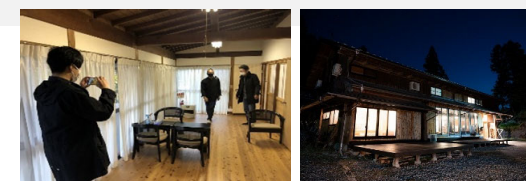
- ・ 体験コンテンツ等

→ 参加される企業・ワーカーが、事前に作成したワーケーションプログラムに基づき、体験コンテンツ等に参加



- ・ 宿泊施設（実験対象エリア内）

→ 参加される企業・ワーカーが、事前に作成したワーケーションプログラムに基づき、実験対象エリアの施設にて宿泊



（参加企業・ワーカー等にアンケートを実施の上）

新たなビジネススタイル・ライフスタイルの具体化に関する検証を実施

1. 実証実験の全体像

● ワークেশンプログラムのテーマ区分

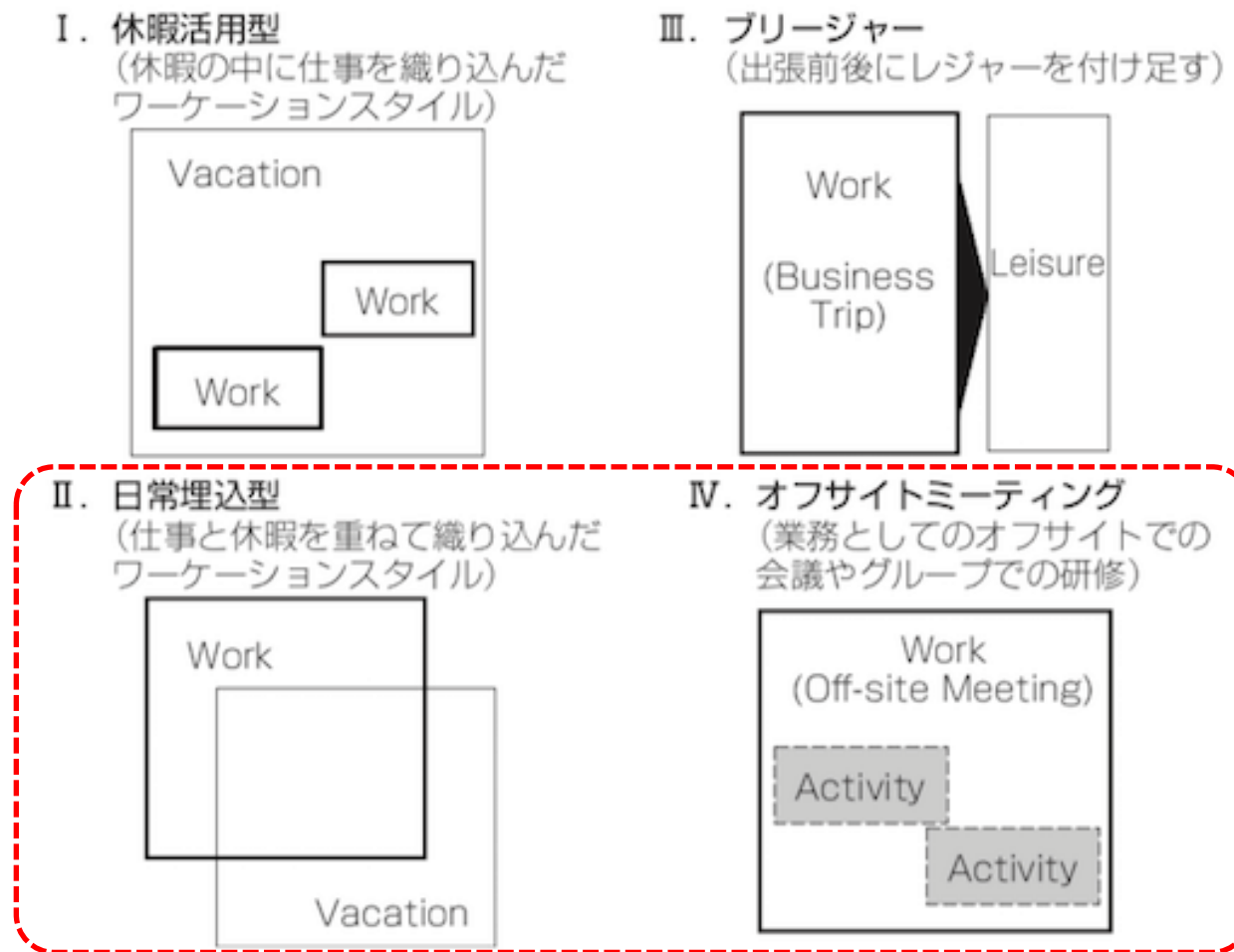
- 以下に示すテーマ区分の内容をモデルとして、企業・ワーカーのニーズや地域の状況に応じてカスタマイズし提案

主要テーマ	概要
i) 地域の特性を活かした独自の体験	<p>○プログラム概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段とは異なる環境で仕事に集中する時間をもつとともに、地域の独自の資源を活かしたコンテンツを体験することを通して、企業のチームビルディングや新規事業開発、ワーカーの生産性やクリエイティビティの向上、モチベーション向上等につなげるプログラム <p>○利用期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 1泊2日～3泊4日 <p>○プログラム例</p> <ul style="list-style-type: none"> 里山体験（山菜取りや魚釣り）とアート体験が一緒にできる 火起こし体験、発電体験など、自給自足生活を疑似体験できる 雨の中の森林浴、極寒体験等、天候や立地環境の欠点を活かしたプログラム キャンプやアウトドア要素を組み込んだプログラム 等
ii) 新しい事業やビジネスの創出	<p>○プログラム概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の先進的な活動等を受け皿として、地域の魅力創出や課題解決に実践的に取り組むプログラムを通して、企業のマーケティングや新しい事業開発、ワーカーの兼業・副業、起業等に資するプログラム <p>○利用期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 1～2週間 <p>○プログラム例</p> <ul style="list-style-type: none"> 都心の企業やワーカーが自身のノウハウや技術を活かして地域の課題解決に取り組む実践型の研修 子どもや高齢者の見守り等、地域福祉に関わる課題をロボットやAI等のIT技術で解決するまちづくり 都心の企業やワーカーと地域の人材の連携による映像制作ワークショップ 地域の先進的な取組（地域通貨等）をベースとした都心企業の新規商品・サービスの実証実験 等
iii) 子どもや家族とともに過ごす	<p>○プログラム概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと一緒に仕事に集中できる環境や仕組みが用意されている、子どもと一緒に楽しむことができる（あるいは、子どもと親でコンテンツが独立している）コンテンツがある等、子どもや家族とストレスなく仕事とプライベートの充実を図ることができるプログラム <p>○利用期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 1泊2日～3泊4日 <p>○プログラム例</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもは里山体験（山菜取りや魚釣り）、親はアート体験に分かれて参加できる 火起こし体験、発電体験など、子どもと一緒に楽しむことができる キャンプやアウトドア要素を組み込んだプログラム 仕事をしたい時間帯に子どもは別のプログラムに参加する等、仕事に集中できる仕組み 等

1. 実証実験の全体像

●参考（ワーケーションの区分＜仕事の形態＞） ※「実施実験計画（案）」から抜粋 P6

・ワーケーションを実施した4社のうち、3社は「日常埋め込み型」、1社は「オフサイトミーティング」であった。



※出典：日本型ワーケーションの4つの形態（人事実務2月号『特集・柔軟な働き方のその先へ』山梨大学 教授 田中教執筆の文章より引用）

2. 実証実験のプロセス

①募集・受付（広報）

◆実証実験計画（案）に基づき、以下の手法を用いて、実証実験の参加等に係る広報を実施

手法	実施概要等
プレスリリース	<ul style="list-style-type: none"> ● 関東地方整備局 ・『スーパー・メガリージョン構想の実現に向け始動！～「新たなビジネススタイル・ライフスタイルの具体化に関する実証実験」～』として、令和3年6月30日付で記者発表を実施 ● 民間サービス（「PRTIMES」にて発信） ・「TV番組」「雑誌」「新聞」「インターネットサイト」「フリーペーパー」「ラジオ番組」「通信社」「専門家」の8つのメディア種類ごとに、条件を選択し、自動的に生成された配信先候補（300媒体）に対して配信。 ・配信の結果、21の媒体において、プレスリリースをもとに実証実験周知に資する記事が作成、発信された。 ※媒体例：「BIGLOBEニュース」「@DIME」「朝日新聞デジタルマガジン&」「AllAboutNews」「PRESIDENT Online」「時事ドットコム」「現代ビジネス」
ポータルサイト	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトを開設し、実証実験の概要、地域資源や宿泊施設を一元的に把握できるよう情報を整理して発信 ・ポータルサイトの延べ訪問者数は1,052、開設当初の7月及び実証実験期間の最終盤にあたる11月に訪問が増加した。＜令和3年12月時点＞
SNS（Facebook）	<ul style="list-style-type: none"> ・「里山ワーケーション」と題し、実証実験対象エリアの各種地域資源等の紹介を通じて魅力を発信（47いいね！＜令和3年12月時点＞）

※その他、昨年度のニーズ調査結果に回答いただいた企業等を中心に、実験対象エリアに対する関心がある企業（ヒアリング調査の実施企業も含む）に対して、情報提供等のPR活動を行い、実証実験への参加を促した。



ポータルサイト（トップ）

宿泊				
藤野				
施設	wifi	宿泊時間以外のワーク可否	住所	電話番号
おおた山荘	○	○	神奈川県相模原市緑区白蓮1411	042-687-2333
神楽園	○	○	神奈川県相模原市緑区吉野1848	0426-87-2637
神谷温泉	-	-	神奈川県相模原市緑区吉野1776	0426-87-2363
無形の家	○	○	神奈川県相模原市緑区名産3743-1	042-689-6109
亀見邸 バカンス村	-	○	神奈川県相模原市緑区外野12822	042-781-0242
朝花園	○	○	神奈川県相模原市緑区外野11822	042-687-2239
藤野荘館の家	-	-	神奈川県相模原市緑区外野4819	042-689-3030

ポータルサイト（Wifi対応等がわかる宿泊施設一覧）

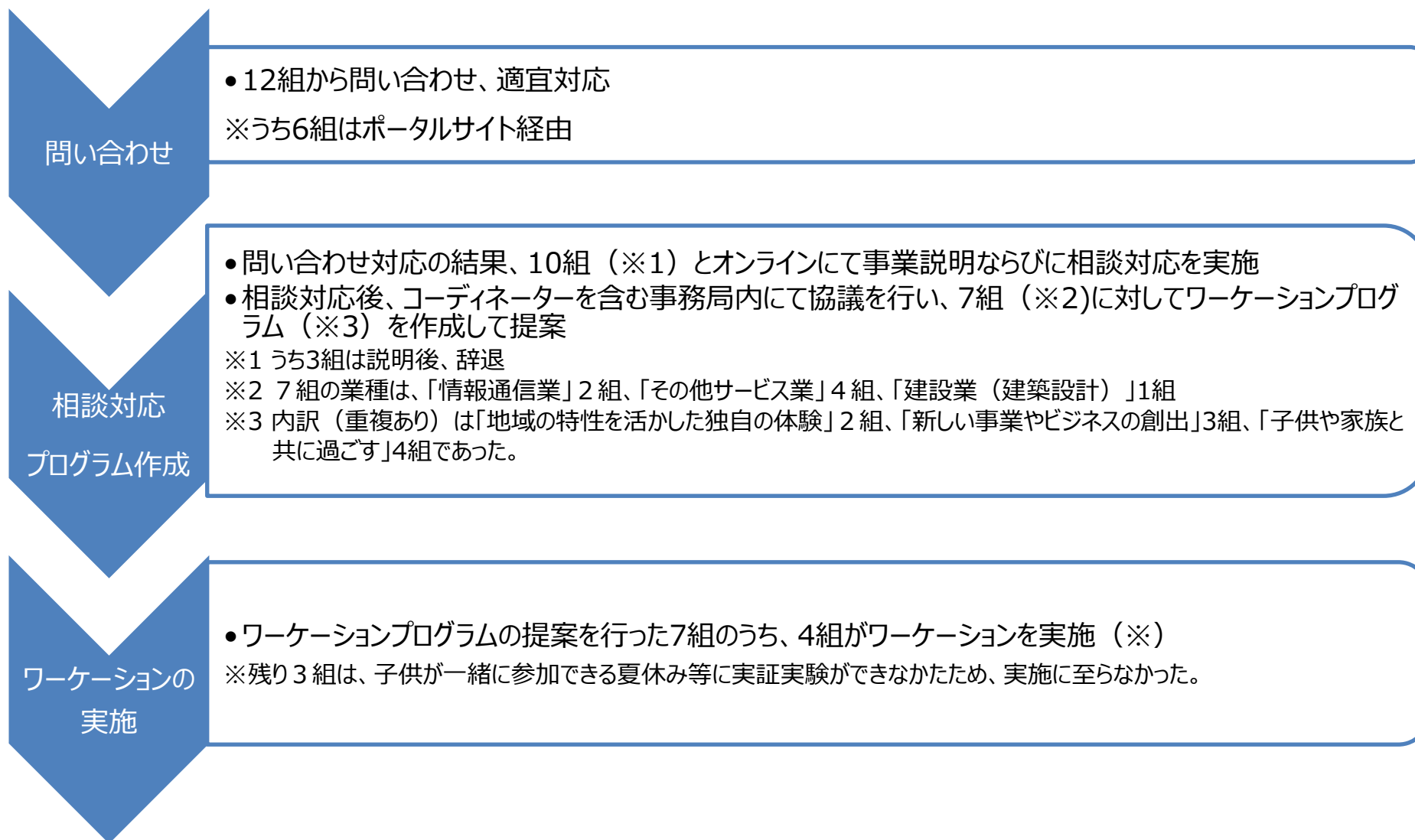


SNS（Facebook）

2. 実証実験のプロセス

②募集・受付（問い合わせ対応）

◆ポータルサイト等を経由し、実証実験に関する質問や問い合わせが寄せられ、事務局にて対応した。対応の流れ及び件数は以下の通り。



3. 実施結果

①結果一覧

◆実施期間中、ワーケーションの実施に向けた協議を10組と実施し、4組がワーケーションを実施した（実施予定順にて整理）。

団体名	業種	立地環境	実施概要（日程、プログラム等）
A	情報通信業	中央線沿線 (渋谷区)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年11月12日（日帰り）、4名参加 「新しい事業やビジネスの創出」（都市部のワーカーを地域へ送客するウェブサービスの展開を見据え、パートナーとなる地域事業者の発掘の機会として、地域内の事業者との交流や地域資源（釣り）の体験を実施）
B	その他サービス業	相模原市内 (緑区)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年11月14日～15日（1泊2日）、3名参加 「地域の特性を活かした独自の体験」「子供や家族とともに過ごす」（親子連れにて、バーベキューや古民家宿泊等を体験。自社のビジネスとして写真素材の販売を行っていることから、実施中の様子を撮影し、自社のコンテンツとして活用することを予定）
C	建設業 (建築設計)	その他（世田谷区）	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年11月18日～19日（1泊2日）、2名参加 「新しい事業やビジネスの創出」（地域課題解決に資するコンサルティング手法の向上やノウハウの蓄積を目的に、ファシリテーション講座の受講や体験コンテンツを提供する地域内の事業者との交流・意見交換を実施）
D	その他サービス業	品川駅周辺 (千代田区)	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年11月26日～27日（1泊2日）、21名参加 「地域の特性を活かした独自の体験」（企業内研修等を目的に、太陽光パネルの設置や地域通貨等を活用したプログラムを体験、研修の合間に柚子の収穫、夜間には古民家宿泊を体験。）

※表中の「立地環境」は令和2年度に実施した「テレワーク等に関するニーズ調査」の区分（品川駅及び周辺駅、中央線沿線、相模原市内）に基づいて整理

②団体別の結果

A社（情報通信業・中央線沿線〈渋谷区〉）

- ◆開催日時：令和3年11月12日（金）9:00～17:30
- ◆プログラムテーマ：新しい事業やビジネスの創出
- ◆参加者/主な職種：4名（うち2名は森ラボでのテレワーク、合間に相模湖周辺の散策、買い物、食事等を行った）
/専門・技術⑤（美術家、デザイナー、音楽家等）
- ◆主な移動手段：鉄道（都内～藤野駅）、タクシー（実証実験エリア内）



ワカサギ釣り（相模湖）



地域資源（おおだ山荘）の視察



地域内事業者との交流

【事業概要（参加したきっかけ）】

- Web製作会社で、新規事業（都市部のワーカーを地域へ送客する、ワーケーションを支援するマッチングサイトを運営）の展開エリアとして実証実験エリアに注目。既に活動拠点として、本年10月から（一社）藤野エリアマネジメントのアトリエスペース（MARGINALFUJINO）を借りている。

【実施目的・内容】

- 上記サービスの展開を見据え、・パートナーとなる地域及び事業者の発掘を見据えた地域内の事業者との交流、・都市部ワーカーへの訴求（魅力）に資する地域資源を把握する機会として実施。

スケジュール	主な行程（テレワーク中心のメンバー以外）
9:00～11:00	バケーション（ワカサギ釣り@日相園）
11:30～13:00	昼食@藤野倶楽部・百笑の台所（※森ラボでテレワークしていたメンバーも昼食時は合流、食後に周辺で買い物）
13:00～13:30	ワークタイム①（藤野倶楽部代表と地域の観光事情や東京から見た藤野地域の立地特性等について意見交換・打合せを実施）
14:00～15:30	ワークタイム②（カフェShuにてオーナー（「おおだ山荘」も運営）と、おおだ山荘の利用方法や古民家リノベーションの手法等について意見交換・打合せ・施設見学を実施）
16:30～17:30	ワークタイム③（やまなみ温泉にて支配人と、施設でのテレワークを行う場合の環境や利用上の課題等について意見交換・打ち合わせを実施） ※終了後、入浴（バケーション）し、帰宅（路線バスで藤野駅へ移動）

※各行程の合間にメール返信等、適宜テレワーク（モバイルワーク）も実施

3. 実施結果

B社（その他サービス業・相模原市緑区）

- ◆開催日時：令和3年11月14日（日）～15日（月）
- ◆プログラムテーマ：地域の特性を活かした独自の体験/子どもや家族とともに過ごす
- ◆参加者/主な職種：3名（夫婦2名、子ども1名）/専門・技術⑤（美術家、デザイナー、音楽家等）
- ◆主な移動手段：自家用車



キャンプ等で使えるスキルを
学びながらのバーベキュー



柚子の家でのワーク
タイムの様子

【事業概要（参加したきっかけ）】

- その他サービス業（ホームページ制作/映像撮影/素材販売等）、コロナ禍では動画作成の需要が高まっている。

【実施目的・内容】

- 子どもと一緒にバーベキューや自然散策等を行うとともに、動画・写真編集や顧客対応等をテレワーク（モバイルワーク）を実施
※B社はワーケーションの様子を撮影し、写真素材として販売

スケジュール	主な行程
11/14（日）	
15:00～17:00	バケーション①（キャンプ等で使えるスキル（例：ダッチオープンの利用）を学びながらのバーベキュー@藤野倶楽部）
17:00～18:00	バケーション②（やまなみ温泉入浴）
18:00～20:00	ワークタイム（宿泊施設A） ※夫はテレワーク（モバイルワーク）、妻は自社商材（イメージ画像）として夫のテレワーク風景を撮影
21:00	就寝
11/15（月）	
8:00～9:00	起床・朝食
9:00～11:00	バケーション③（宿泊施設周辺の散策、バードウォッチング等） ※自社の商材として活用するため、散策の様子を撮影しており、ワークタイムとしての要素もある。

※各行程の合間に、夫妻はメール返信等、適宜テレワーク（モバイルワーク）を実施

3. 実施結果

C社（建設業（世田谷区））

- ◆開催日時：令和3年11月18日（木）～19日（金）
- ◆プログラムテーマ：新しい事業やビジネスの創出
- ◆参加者/主な職種：2名/管理（会社役員、その他の法人・団体の管理職員等）
- ◆主な移動手段：カーシェアサービス（世田谷区から乗車）



ファシリテーション講座の様子

【事業概要（参加したきっかけ）】

- デザイン・設計事務所、各種施設（公共施設、道の駅、古民家等）の周辺地域における歴史や地域資源を活用・連携する視点からの活性化支援を得意とする。

【実施目的・内容】

- C社は地域活性化支援のプロジェクトが増える中、地域資源の発掘や住民との合意形成等に係る経験や知見の積み上げの必要性を認識していたことから、地域資源の見学や地域との意見交換を行うとともに、合意形成に必要なファシリテーションスキルの向上に資する講座受講の機会として実施

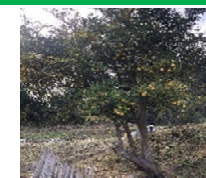
スケジュール	主な行程（各行程の合間に、メール返信等、適宜テレワーク（モバイルワーク）を実施）
11/18（木）	
11:00	集合（@藤野駅）
11:15～12:00	ワークタイム①（地域資源の把握のため、見学@ふじのアートヴィレッジ・MARGINAL FUJINO）
12:00～13:30	昼食@カフェShu
13:30～15:00	ワークタイム②（地域の歴史や現状の把握のため、（一社）藤野エリアマネジメント代表理事と意見交換・打合せ）
15:00～17:00	ワークタイム③（ファシリテーション講座@森ラボ＜講師：高橋靖典氏＞）
17:00～	宿泊 宿泊施設B
11/19（金）	
9:30	集合（@MARGINAL FUJINO）
10:00～11:00	ワークタイム④（間伐材製材所・アトリエ見学。MARGINAL FUJINOに入居している「MORIMO」と地域木材を使ったモックアップ制作協議）
11:00～12:00	バケーション①（@BC工房、工房で製作しているイスやテーブル等を購入）
12:00～13:00	昼食@百笑の台所
13:00～14:30	ワークタイム⑤（アートとデザインの関係、今後の展開等について懇談@廃材エコヴィレッジゆるゆる）
14:30～15:30	ワークタイム⑥（地域環境、藤野でのデザイン環境等について意見交換@柚子の家）
15:30～17:00	バケーション②（地域の建築家がデザインした建物、野外彫刻巡り）
17:00	終了

D社（その他サービス業・品川駅周辺（千代田区））

- ◆開催日時：令和3年11月26日（金）～27日（土）
- ◆プログラムテーマ：地域の特性を活かした独自の体験
- ◆参加者/主な職種：21名（うち8名が宿泊して全行程を実施）/その他
- ◆主な移動手段：鉄道（都内～藤野駅）、自家用車（都内～藤野駅）、貸切バス（地域内）



夕食・懇談会の様子



柚子の実の収穫体験

【事業概要（参加したきっかけ）】

- 経営戦略をはじめとするコンサルティングサービスを提供。将来的な地方創生事業や海外展開等を見据えた、新規ビジネス（地域資源の活用）に資する知見や経験を積む機会、コロナ禍で制限されていた対面のコミュニケーションを通じたチームビルディング（特に新入/中途社員との交流）に対する関心があった。

【実施目的・内容】

- 新規ビジネスに対する知見等を養うとともに、チームビルディングの機会となるよう、地域資源を題材とした体験型の研修プログラムを受講。

スケジュール	主な行程
11/26（金）	
11:00～11:15	集合・移動（藤野駅集合後、貸切バス）
11:15～12:30	昼食（@百笑の台所） ※食後、敷地内の散策、動物とのふれあい等のプチバケーションの時間を設定
13:00～15:30	ワークタイム（企業研修（※）@柚子の家） ※地域資源を題材としたワーク（ミニ太陽光発電システム組み立てワークショップ、地域通貨シミュレーションゲーム）
15:30～16:00	バケーション（お土産として、柚子の実の収穫体験@柚子の家周辺）
16:00～18:00	ワークタイム②（テレワーク（モバイルワーク）等）
18:00～20:00	夕食・懇親会（宿泊施設A、日帰り参加者は終了後帰宅）
11/27（土）	
8:00～9:00	起床・朝食
9:00～10:00	ワークタイム③（ラップアップ（振り返り）ミーティング）
10:00	解散 ※各自、自由行動